

令和元年度に実施した三重県計画事業の目標達成状況一覧表(医療分)

○:目標を達成したもの、△:概ね達成したもの・複数ある目標のうち一部を達成したもの、×:目標を達成できなかったもの

事業名	事業の区分(注1)	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考	R1担当課	R2担当課
1	ICTを活用した地域医療ネットワーク基盤整備事業	桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	三重医療安心ネットワークの参加施設数293か所(H30.12)を308か所(R2.3)にする。	令和2年3月末時点で、三重医療安心ネットワークの参加施設数は301か所となった。		引き続き参加施設の増加に努めるとともに、登録患者数の増加に努めたい。	健康づくり課	医療政策課
2	地域生活支援施設整備事業	桑名地域、三河地域、鈴鹿地域、津地域、伊賀地域、松阪地域、伊勢志摩地域、東紀州区域	県内医療機関	地域生活支援の充実を図るための施設、設備の整備を行う医療機関を1か所以上確保する。	地域生活支援の充実を図るための施設、設備の整備を行う医療機関を1か所確保したものの、工事の終了及び施設の稼働が令和2年度にずれ込んだ。	×	令和2年度に施設稼働	健康づくり課	健康推進課
3	がん診療体制整備事業	桑名地域、三河地域、鈴鹿地域、津地域、伊賀地域、松阪地域、伊勢志摩地域、東紀州地域	県内医療機関、緩和ケアネットワーク協議会、市町	県内のがん診療に関わる施設・設備の整備を行う医療機関を4か所以上確保する。	令和元年度は、県内のがん診療に関わる施設・設備の整備を3か所の医療機関で実施した。		引き続き対象となる医療機関等への周知に努めたい。	健康づくり課	医療政策課
4	回復期病棟整備等事業	桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	補助を活用し病床転換に取り組む施設数1か所を確保する。	令和元年度は予定通り1か所の医療機関が当事業による病床転換に係る整備を行った。			地域医療推進課	医療政策課
7	在宅医療体制整備推進事業	桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	郡市医師会	補助事業を活用し在宅医療体制の整備に取り組んだ医師会数3か所(平成30年度実績)を4か所にする。	在宅医療体制の整備に取り組む4医師会に補助を行った。	○	H30計画を延長して実施。	長寿介護課	長寿介護課
8	医療的ケアを必要とする障がい児・者の受け皿整備事業	桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(医療機関へ委託)等	医療的ケア技術のスキルアップを目的とした集合型研修(平成30年度は医療専門家の派遣による医療的ケアに係る出張型研修を実施)を受講した障害福祉サービス等事業所数(平成30年度は11事業所が受講予定)を20事業所にする(令和元年度)。 医療的ケア児・者の緊急時の受入に対応するための事業所数(現状値17か所)を19か所にする(令和元年度)。	医療的ケア技術のスキルアップを目的とした研修を受講した事業所数:52か所(令和元年度末) 医療的ケア児・者の緊急時の受入に対応するための事業所数:27か所(令和元年度末)			障がい福祉課	障がい福祉課
9	小児在宅医療・福祉連携事業	桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重大学医学部附属病院	小児在宅医療に係る研究会及び医療・福祉・教育関係施設に従事する看護師を対象とした研修会の参加者数延べ300人以上を確保する。	小児在宅研究会、小児在宅医療実技講習会、小児セラピー研究会、訪問看護師を中心としたスキルアップ研修会を実施し、延べ855人の参加を得た。		H30計画を延長して実施。	地域医療推進課	医療政策課
10	三重県在宅医療推進懇話会の運営	桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	懇話会の開催回数2回以上を確保する。	懇話会を2回開催した。	○		長寿介護課	長寿介護課
11	保健師ネットワーク体制強化事業	桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	中堅リーダー技術研修1回、人材育成研修1回、保健所毎におけるネットワーク会議・研修会の開催回数1回以上を確保する。	中堅リーダー技術研修1回、人材育成研修1回、保健所毎におけるネットワーク会議・研修会を各1回以上開催した。	○		健康づくり課	健康推進課

番号5, 6欠番

	事業名	事業の区分 (注1)	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考	R1 担当課	R2 担当課
12	医療介護連携体制整備事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重大学附属病院委託)	医療・介護資源の乏しい11か所の地域(各構想区域1か所)に、先進的な取組事例を普及させる。	令和元年度は医療・介護資源の乏しい11か所の地域(1構想区域)において、先進的な取組事例を紹介する事例検討会を開催し、累計で3か所(3構想区域)となった。なお、令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた事例検討会が中止となったため、目標を下回っている。		令和3年度の事業終了までに、引き続き先進的な取組事例の普及を進めていく。	地域医療推進課	医療政策課
13	在宅医療普及啓発事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(郡市医師会委託)	各構想区域で1回以上の普及啓発事業を実施する。	8構想区域のうち7構想区域が県からの委託により在宅医療普及啓発事業を実施し、残る1構想区域は市の普及啓発事業を利用して実施した。県の事業利用としては、各構想区域で1回以上との目標は達成できなかったが、事業の実施により在宅医療の普及啓発のための取組が進められた。		引き続き委託事業を活用していただけるよう市町・郡市医師会に向けた働きかけを行っていきたい。	長寿介護課	長寿介護課
14	在宅医療体制整備事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県医師会委託)	各研修会の参加者数延べ300人以上を確保する。	在宅医療・介護連携アドバイザーによる研修会(2回・延べ72名)および地域連携強化研修会(82名)の開催により参加者数延べ154名を確保したが、新型コロナウイルス感染症の影響により研修会(1回)が中止となったため、目標である延べ300名以上は確保できなかった。研修会等の開催により、在宅医療関係者の資質向上につながった。	×	多職種連携体制整備に向けたニーズの調査とそれに基づく研修を実施する。	長寿介護課	長寿介護課
15	在宅医療推進のための看護師研修事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	訪問看護事業所及び医療機関の看護師を対象に研修会を実施し、研修参加者50人以上を確保する。	研修参加者は延べ38人であった。		受講促進のため、看護管理者等の理解を得られるよう働きかけを続ける。	地域医療推進課	医療介護人材課
16	訪問看護人材確保事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会)	県内1か所に訪問看護事業所間の協働体制が確立される。	訪問看護事業所の協働体制の確立に向けた調査を実施し、それに基づいた協議を行った。モデル地区を伊勢志摩地区と定め、「災害時の協働体制」の構築をテーマとして、関係機関と連携を取り進める方向性について合意形成を行った。		次年度も継続して取組み、モデル地区における災害時の協働体制の構築を進める。	長寿介護課	長寿介護課
17	認知症ケアの医療介護連携体制構築事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重大学医学部附属病院、三重県医師会	「脳の健康みえる手帳」紹介先医療機関数を55施設(令和元年度)にする。	「脳の健康みえる手帳」紹介先医療機関数は47施設となった。		医療・介護連携、病診連携を促進するためにも継続して実施していきたい	長寿介護課	長寿介護課
18	精神障がい者アウトリーチ体制構築事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県内医療機関委託)	多職種チームを精神科救急システム2ブロック(北部・中南部)にそれぞれ各1チーム設置。平成31年度は各チーム合同の事例検討会を開催する。	多職種チームを精神科救急システム2ブロック(北部・中南部)にそれぞれ各1チーム設置できた。各チームの合同事例検討会を開催し、各事業受託医療機関及び、各圏域管轄保健所、県庁主管課が参加した。	○	H30計画を延長して実施。	健康づくり課	健康推進課
19	地域口腔ケアステーション機能充実事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県歯科医師会、三重大学、県歯科衛生師会委託)、郡市県医師会	地域口腔ケアステーション数9か所(H31.3)を10か所(R2.3)にする。	地域口腔ケアステーションを9か所(R2.3)に整備した。		H29計画を延長して実施。引き続き、地域口腔ケアステーションが未整備の郡市医師会に働きかけを行う。	健康づくり課	健康推進課

	事業名	事業の区分 (注1)	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考	R1 担当課	R2 担当課
20	居宅療養管理指導等に取り組む薬局研修事業		三泗区域	一般社団法人四日市薬剤師会	在宅の多職種連携における実践的な研修会の参加者数を20人以上とする。	在宅の多職種連携における実践的な研修会の参加者数は186人となった。			薬務感染症対策課	薬務感染症対策課
21	薬剤師在宅医療推進事業		桑島区域、三泗区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	一般社団法人三重県薬剤師会	在宅医療アドバンス研修の参加者を受講者20名以上とする。	在宅医療アドバンス研修の参加人数は94名となった。			薬務感染症対策課	薬務感染症対策課
22	在宅医療を推進するための薬剤関連プラットフォーム整備事業		鈴鹿区域	三重県(鈴鹿山薬剤師会委託)	実践的研修会への参加者を受講者100名以上とする。	実践的研修会への参加人数は286名となった。			薬務感染症対策課	薬務感染症対策課
23	看護職のリーダー養成事業		桑島区域、三泗区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	認知症ケア・ACPを含む地域包括ケア研修に4人以上派遣する。(令和元年度)	認知症・緩和ケアを含む地域包括ケア研修に4人派遣した。	○		地域医療推進課	医療介護人材課
24	在宅医療看取り体制整備促進事業		桑島区域、三泗区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県医師会委託)	県内2会場で死体検案等研修会を開催し、概ね50名程度の受講者を見込む。	県内2会場で死体検案等研修会を開催し、42名の受講者があった。	○		医務国保課	医療政策課
25	地域医療支援センター運営事業		桑島区域、三泗区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	地域枠医師の派遣調整に係る部会を年2回以上開催する。 県内で専門研修を開始する医師数(現状:94名)を95名以上とする。	地域枠医師の派遣調整に係る部会を年3回開催した。 県内で専門研修を開始する医師数(令和2年度開始)は100名となった。	○		地域医療推進課	医療介護人材課
26	地域医療支援センター運営事業(三重県医師修学資金貸与制度)		桑島区域、三泗区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	貸付者総数688人(平成30年度)を743人(令和元年度)にする。	貸付者総数688人(平成30年度)が731人(令和元年度)となった。		引き続き制度の周知を行い、貸与者の確保に努める。	地域医療推進課	医療介護人材課
27	医師派遣等推進事業(パディホスピタル派遣補助)		桑島区域、三泗区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	パディホスピタル派遣の実施月数12か月を維持する。(令和元年度)	パディホスピタル派遣を利用した、令和元年度の医師派遣数実績は4名、派遣実施月数は12ヶ月となった。			地域医療推進課	医療介護人材課
28	臨床研修医定着支援事業		桑島区域、三泗区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	MMC卒後臨床研修センター	県内で新たに臨床研修を開始する研修医数を、令和2年度当初時点で125人にする。(平成30年度当初時点121人)	県内で新たに臨床研修を開始する研修医数128人(令和2年度当初時点)			地域医療推進課	医療介護人材課
29	地域医療対策協議会の調整経費		桑島区域、三泗区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	地域医療対策協議会の開催回数2回以上を確保する。	地域医療対策協議会を3回開催した。	○		地域医療推進課	医療介護人材課
30	産科医等確保支援事業		桑島区域、三泗区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	手当支給者数561人以上を確保する。 手当支給者施設数33か所以上を確保する。(令和元年度)	令和元年度本事業の支援により、分娩手当を支給する医療施設数は、32施設となった。 分娩手当支給対象者は813人となった。		分娩手当を支給する施設数が目標より1件下回ったが、引き続き制度周知に努め、分娩手当を支給する施設を確保していく。	地域医療推進課	医療介護人材課

	事業名	事業の区分 (注1)	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考	R1 担当課	R2 担当課
31	産科医等育成支援事業		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	手当支給者数3人以上を確保する。 手当支給者施設数1か所以上を確保する。(令和元年度)	産科専攻医への処遇改善支援する医療機関を1か所以上にし、2名の産科専攻医へ研修医手当を支給した。		研修医手当を支給する産科専攻医数が目標を1名下回ったが、引き続き制度周知に努め、研修医手当を支給する産科専攻医を確保していく。	地域医療推進課	医療介護人材課
32	新生児医療担当医確保支援事業		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	対象となる新生児医療業務件数を460件以上にする。(令和元年度)	本事業により、3医療機関に対し支援を行い、支援を受けた医療機関の令和元年度の新生児医療業務件数は578件となった。			地域医療推進課	医療介護人材課
33	救急医療人材確保支援事業		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	二次救急医療機関	非常勤医師を確保し、病院群輪番制等により救急対応した二次救急医療機関の対応延べ日数1,734日(H29)を1,800日(R1)にする。	非常勤医師を確保し、病院群輪番制等により救急対応した二次救急医療機関の対応延べ日数は1,996日であった。		引き続き、二次救急医療機関において、時間外に救急患者へ対応するために非常勤医師を確保することにより、救急医療体制の強化に努めます。	地域医療推進課	医療政策課
34	医師不足地域の医療機関への医師派遣体制の構築		伊賀区域	名張市	名張市立病院及び小児救急医療センターへ医師の派遣を行う。 名張市立病院小児科 常勤医師1名 小児救急医療センター 非常勤医師4名	当該事業により、名張市立病院小児科に常勤医師1名、小児救急医療センターに非常勤医師4名の派遣を行った。			地域医療推進課	医療介護人材課
35	結核医療を担う呼吸器内科医等の確保・育成支援事業		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重中央医療センター委託)	結核医療を担うことの出る専門性を有する医師等の確保・育成(3人/年)を行うとともに、医師等医療従事者に対する研修を年2回以上実施する。	結核医療従事者に対する研修を2回実施した。初期研修医16名に対し、研修ローテーションにおける呼吸器内科に関する研修指導を行った。			薬物感染症対策課	薬物感染症対策課
36	三重県プライマリ・ケアセンター整備事業		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重大学医学部附属病院委託)	医学生・看護学生をはじめとした医療従事者等をめざす学生(30人/年)の教育・育成及びプライマリ・ケアにかかる研修会等(7回/年)を実施する。	学生の教育・育成 114人 プライマリ・ケアに係る研修会等の開催 計5回 191人		新型コロナウイルス感染症の影響から一部研修会が中止となったことが未達成の原因であり、新たな方法等についても検討しながら達成を目指す。	医務国保課	医療政策課
37	新専門医研修における総合診療医や指導医等の広域育成整備事業		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重大学医学部附属病院	本事業を活用し、研修医(専攻医)と指導医を年間5名程度育成する。	本事業を活用し、研修医(専攻医)と指導医を33名程度育成した。			地域医療推進課	医療介護人材課
38	小児救急地域医師研修事業		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	市町	小児初期救急医療研修を受講した医師数(平成29年度実績:101人)を130人(令和元年度実績)にする。	小児初期救急医療研修を2地域で3日実施し、118人が受講した。		開催地域数はH30年度から1地域減となったが、研修を受講した医師数は16人増加した。引き続き研修開催日程が増えるよう働きかけを行うとともに、目標設定を見直す必要がある。	地域医療推進課	医療政策課
39	女性医師等就労支援事業(子育て医師等復帰支援事業)		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内病院、三重県(県医師会委託)	子育て医師等の復帰支援に取り組む病院数を7か所以上にする。 また、「女性が働きやすい医療機関」認証制度への申請医療機関数を5か所以上にする。	子育て医師等の復帰支援に取り組む医療機関数は6か所であった。 また、「女性が働きやすい医療機関」認証制度への申請医療機関数は7か所(再認証申請の3か所を含む)であった。		HP、パンフレット等で事業の周知に努めたが、目標達成には至らなかった。引き続き制度の啓発を行うとともに、医療勤務環境改善の推進に努めたい。	地域医療推進課	医療介護人材課
40	歯科技工士確保対策・資質向上事業		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(一部県歯科技工士会委託)	県内歯科技工士所を対象とした歯科技工技術安全研修を年間で10回開催し、新規就業者も含めた受講者数の増加をはかる。	歯科技工技術安全研修を10回開催し、延べ277人が受講した。			健康づくり課	健康推進課

	事業名	事業の区分 (注1)	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考	R1 担当課	R2 担当課
41	新人看護職員研修事業補助金		桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	新人看護職員研修補助により、年間600人以上の参加者数を確保する。	新人看護職員研修補助により、年間660人の参加者数を確保した。			地域医療推進課	医療介護人材課
42	新人看護職員研修事業		桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会、県立看護大学委託)	多施設合同研修に参加した(延べ)人数1,064人以上を確保する。 新人助産師合同研修への参加者数25人以上を確保する。	多施設合同研修に参加した人数は(延べ)837人であった。 新人助産師合同研修への参加者数は32人であった。		多施設合同研修については、自施設で研修システムが構築されたことにより、参加者が減少したと考えられるため、目標設定を見直す。	地域医療推進課	医療介護人材課
43	保健師助産師看護師実習指導者講習会事業		桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	実習指導者講習会の受講者数60人以上を確保する。(令和元年度)	実習指導者講習会の受講者数は52人であった。		引き続き受講促進に努めるとともに目標設定を見直す必要がある。	地域医療推進課	医療介護人材課
44	潜在看護職員復職研修事業		桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	潜在看護職員を対象とした研修会を3地域で開催し、研修参加者数30人以上を確保する。	3地域で研修会を開催し、潜在看護職員の参加者数は16名であった。	×	県看護協会と協同して日程や内容を見直す等、引き続き受講促進に努めたい。	地域医療推進課	医療介護人材課
45	看護教員継続研修事業		桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重県看護学校校長会委託)	看護教員継続研修参加者数延べ100名以上を確保する。(令和元年度)	参加者数は延べ113名であった。	○		地域医療推進課	医療介護人材課
46	CNA(認定看護管理者)フォローアップ事業		桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	CNA(認定看護管理者)フォローアップ研修会参加者数延べ100人以上を確保する。(令和元年度)	参加者数は延べ255名であった。	○		地域医療推進課	医療介護人材課
47	看護職員キャリアアップ支援事業		桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	認知症認定看護師教育課程等の受講者15人以上に補助を行う。(令和元年度)	認知症認定看護師教育課程等の受講者4人に補助を行った。	×	研修機関が教育訓練給付金制度(受講者本人を対象とした補助制度)を活用したため、県補助金の申請が減少した。よって、今年度で終了とする。	地域医療推進課	医療介護人材課
48	がん医療水準均てん化の推進に向けた看護職員資質向上対策事業		桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重大学医学部附属病院委託)	研修受講者数9人以上を確保する。(令和元年度)	研修受講者数は4人であった。	×	引き続き研修を実施し、受講促進に努める。	地域医療推進課	医療介護人材課
49	助産師活用推進事業		桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県立看護大学委託)	助産師(中堅者)研修への参加者数30人以上を確保する。	受講者数は14人であった。	×	研修テーマの見直し等を行い、引き続き研修を実施する。	地域医療推進課	医療介護人材課
50	助産実践能力向上研修事業		桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県産婦人科医学会委託)	助産実践能力向上研修への参加者数150人以上を確保する。	研修参加者数は78人であった。	×	新型コロナウイルスの流行により、参加者が少なかった。次年度は開催方法を検討する。	地域医療推進課	医療介護人材課
51	看護管理者の院内・地域内継続学習の推進事業		桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重大学医学部附属病院委託)	CNMLの養成研修会を開催し、15人以上養成する。	CNML修了者 14人		初年度であったため、実態をふまえ、目標設定を見直すとともに、引き続き受講促進に努める。	地域医療推進課	医療介護人材課
52	看護職のWLB推進事業		桑名区域、三河区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	勤務環境改善に取り組む医療機関を対象に、アドバイザーが年4回以上直接相談を行う。	アドバイザーを3施設に4回派遣した。			地域医療推進課	医療介護人材課

	事業名	事業の区分 (注1)	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考	R1 担当課	R2 担当課
53	看護師等養成所運営費補助金		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	看護師等養成所	看護師等養成所12施設に補助をする。 (令和元年度)	看護師等養成所12施設に対して運営に必要な経費補助を行った。			地域医療推進課	医療介護人材課
54	看護師等養成所実習施設確保推進事業		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	母性看護、小児看護及び助産の実習受入施設数13か所以上を確保する。	母性看護、小児看護及び助産の実習受入施設数13か所			地域医療推進課	医療介護人材課
55	看護職員確保拠点強化事業		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	ナースバンク新規登録者数500人以上を確保する。	ナースバンク新規登録者数は466人であった。		免許保持者届出制度について、事業委託先である県看護協会等を通じて制度周知を行ったが、わずかに目標達成には至らなかった。当県の看護職員の離職率は全国と比較して低い水準であり、離職時に届ける登録者数及びナースバンクへの登録者数が少なかったことも一因であると考えられる。今後はより一層の制度周知に努める。	地域医療推進課	医療介護人材課
56	医療勤務環境改善支援センター事業		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県医師会委託)	医療勤務環境マネジメントシステムの導入・定着支援を行う医療機関数5か所以上を確保する。	21医療機関に対して医療勤務環境マネジメントシステムの導入・定着支援を行った。			地域医療推進課	医療介護人材課
57	病院内保育所運営支援事業		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	病院内保育所の運営を通じて、看護職員等医療従事者の離職防止等に取り組む医療機関数29か所以上を確保する。	24医療機関に対して補助を行うとともに、24時間保育を行う8施設、病児等保育を行う1施設、児童保育を行う3施設、休日保育を行う12施設に対して加算補助を行った。		補助要項等の見直しを行い、当該事業取り組む医療機関の拡充に努めたが、目標達成には至らなかった。補助要件の見直し等により、効果的な補助事業の実施に努めていく。	地域医療推進課	医療介護人材課
58	小児救急医療支援事業		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	二次救急医療機関	常勤医師を確保し、病院群輪番制等により小児救急に対応した二次救急医療機関の対応延べ日数1,214日(平成27年度実績、過去最高件数)を令和元年度も確保する。	常勤医師を確保し、病院群輪番制等により1,080日小児救急に対応した。		引き続き二次救急医療機関の小児救急対応日数が増えるよう働きかけを行っていく。	地域医療推進課	医療政策課
59	小児救急医療拠点病院運営補助金		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重病院	小児救急診療体制3人(医師1人、その他2人)(平成29年度実績)を令和元年度も確保する。	小児救急診療体制3人(医師1人、その他2人)を確保した。			地域医療推進課	医療政策課
60	小児救急電話相談事業		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(委託)	電話相談件数10,462件以上にする。	電話相談件数は12,048件であった。			地域医療推進課	医療政策課
61	女性薬剤師等復職支援スキルアップ研修事業		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	一般社団法人三重県薬剤師会	研修会の参加人数20人以上とする。	女性薬剤師等復職支援スキルアップ研修会の参加人数は34名となった。			薬務感染症対策課	薬務感染症対策課
62	看護職員(専任教員)養成事業		桑島区域、三洲区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(委託)	16人の看護教員を養成する。(平成31年度)	講習会受講者数は16人であった。	○	H27計画を延長して実施。	地域医療推進課	医療介護人材課